



▲華やかなフラダンス！



▲熟年会の皆さんの銭太鼓！



▲町の誇り 桜ヶ丘音頭！



▲おめでとう！お楽しみ大抽選会

<歴史を大切に、そして未来の夏祭りに>

環境衛生委員長 富田剛

猛暑の中で迎えた今年の夏祭りも終わり、ご来場されたみなさまも祭りに関わったスタッフもそれぞれの思いでお盆を過ごされたことと思います。夏祭りは久しぶりに、またスタッフとして関わらせていただいたのは今回が初めて。桜ヶ丘で夏祭りが始まってから何年になるでしょう。これまで積み重ねられてきた歴史を大切にしながら、夏の楽しい思い出として子供たちの心に残っていくような夏祭りにしていくためにどんなことが出来るのか、手探りの中でそんなことを考えながら本番が近づくにつれ、準備に漏れはないかということしか考えられなくなっていたことが思い返されます。今後、参加されたみなさんにアンケートを取ったり、“お祭り大好き”な方々にも加わっていただく実行委員会で夏祭りを創り上げていくのも楽しいイベントになるのではないのでしょうか。

<神輿巡行> 総務委員長 片倉茂己

神事・巡行グループのリーダーをしました。これまでは神輿の担ぎ手探しに困っていたそうですが、今年は子ども神輿の向うを張って、子供会のお父さん達にお願いして本神輿を担いでもらいました。また、多くの幼児達が参加してくれたので、法被を買い足したり、酷暑対策としての巡行ルート短縮や帰着地の会館前での飲料補給など、新しい試みを実行しました。若いお父さん達の神輿担ぎは、きっと桜ヶ丘の新たな伝統になるものと確信しています。

今年の神輿巡行の主役は、これからの桜ヶ丘の担い手である子ども達と子ども会のお父さんお母さんであったと思います。沿道では多くの方に声援頂きました。特に短縮ルートの17班・18班にお住まいの方々からも大きな声援を頂きました。多くの方々の参加と声援による一体感に、暑い汗とともに胸を熱くした次第です。有難うございました。

<夏祭りを終えて> 文化厚生体育委員長 高市一彦

模擬店・イベントグループは、模擬店・飲料コーナー・ゲームコーナー・各ステージイベントなど受け持ち範囲が広く、果たして完遂できるか初めは不安でしたが、総勢10名が業務分担し責任持って計画推進した結果、何とか当初の計画通り祭りを終えることが出来ました。昨年度の担当の方々のアドバイスや会長はじめ他グループの協力また町内の経験者の方々の支援があって達成出来たと心より感謝しています。改めて集団力の強さを感じました。なお、色々と反省事項、改善事項もあり、来年度もより一層素晴らしい夏祭りとなるよう引継ぎ資料を充実したいと思っています。



▲感謝を込めて、閉会

<桜ヶ丘子ども会> 会長 今井 弓

夏祭り、無事に終わることができて、子ども会としてもほっとしております。

今年は例年になく酷暑で、お神輿の巡行ルートを短くくださり、子供達も最後まで元気に歩くことが出来ました。大人神輿も町内の方々や子ども会のパパさんの参加で終えることができました。皆さんのサポートありがとうございました。

「FUN FESTA 2018」では、「今年は子ども会でステージ発表してみよう！！子供たちの元気な姿を見てもらおう！！」と役員で話し合い、ダンスとけん玉の発表をさせてもらいました。参加人数どれくらいかな？と不安でしたが、結果30人程のステージとなりました。みんな緊張しながらも楽しそうに発表でき、見ている私達も楽しかったです。町内の皆さまのおかげで楽しい夏祭りを過ごささせていただきました！ありがとうございました。

桜ヶ丘の皆さん、今年もありがとうございました。